

平成27年度岡山大学入学式式辞

本日ここに、ご来賓ならびにご家族のご臨席をいただき、学部学生 2,423 名、大学院学生 1,073 名、総計 3,496 名の新入生、そして 17 カ国から 115 名の留学生が一同に集まり、平成 27 年度岡山大学入学式を挙行出来ますことは、本学にとりまして誠に喜ばしいことであります。

皆さんは、この岡山大学を“最高学府”と選び、たゆまぬ努力と、数々の難関を乗り越えて、本日、この日を迎えられました。岡山大学を代表しまして、心からのお祝いと、歓迎の意を表明いたします。

岡山大学は、明治 3 年、今から 145 年前、1870 年に創設された岡山藩医学館を起源とする岡山医科大学、明治 33 年創立された旧制第六高等学校、大正 3 年、倉敷の大原家によって設立された、大原奨農会農業研究所など、岡山の地に存在していた優れた伝統と実績を誇った高等教育機関を統合して、昭和 24 年、新制国立大学として設立された、全国でも屈指の総合大学であります。

そして、現在では、11 学部、7 大学院研究科、2 つの附置研究施設、大学病院、附属学校を備え、本日、皆さんを迎えて 1 万 4 千人の学部学生と大学院生、留学生 530 人、教職員を加えて 2 万人の人々が、この岡山大学の美しきキャンパスにおいて知の創造にとり組み、優れた人材を育て、輝かしい研究を基に地域のみならず世界に貢献する総合大学へと発展しております。

岡山大学の**美しきキャンパス**は、岡山、倉敷の市街地に、都市機能を保ちながら、広大で緑豊かに存在し、また「晴れの国」と呼ばれるように気候は温暖にして、日本でも有数の災害の少ない安全・安心の地にあります。皆さんが青春を過ごし、勉学にいそしみ、心と身体を鍛える場として、最適な環境を、先人のご尽力により有していることは、この上なく幸運なことです。

そして、この美しきキャンパスを持った岡山大学が中心となり、岡山の発展を支える「美しい学都」構想では、皆さんのような若き創造に満ちた力を待ち望んでいるところであります。

皆さんが、今日、ここにあるのは、皆さん自身の意思で岡山大学を選択していただいた結果であります。皆さんの自らの意思として、世界から人と知の集まる「美しい学都」の担い手として参加していただきたいと思っております。

岡山大学の掲げる**理念**は「高度な知の創成と的確な知の継承」であります。私たち大学人は、常に学問を探求し、新たな研究に挑戦し、得た知識を次世代に伝え、教育を通して人材を育て社会貢献する、これが私達のミッションであり、今日からの皆さんのミッションでも

あります。

言うまでもなく、日本社会は今、大きな変革期を迎えており、大学もまさに大きな変革を迫られております。岡山大学では大きなビジョンを掲げ、創立以来の大改革を行っている真最中であり、真に国際的な研究・教育拠点を目指し、誇りある大学を作り上げているところです。

その第一は、教育改革であります。皆さんの受ける岡山大学での教育は、専門知識のみに偏らない教養教育と実践知教育であります。実践知とは、自ら置かれた立場で、自ら判断して、自ら解決できる能力を言います。そして、平成28年度からは60分授業・クォーター制を導入し、「学び」を一層進化させます。

二つ目は、大学のグローバル化であります。岡山大学は厳しい競争の中で、昨年度、スーパーグローバル大学に選定されました。これから10年をかけて、皆さんの英語力を強化し、留学経験を倍増し、受け入れる留学生を年間に2,000人、現在の4倍にまで拡大してまいります。そして、美しきキャンパスをグローバルなキャンパスに進化させてまいります。

次世代の日本を担うべく皆さんが社会から求められている事は、世界を見据えた、世界に通用する人材であります。世界に通用する人材となるためには、現在の世界共通言語である英語が話せることが前提となります。高い専門知識の獲得と同時に、人間力を創成する幅広い教養とそれを表現する言葉を身につけなくてはなりません。幅広い教養こそが、大きな人間をつくりだす基盤であります。決して教養教育をおろそかにしないでいただきたいと思えます。

皆さんが自分で考え、自分で選択し、自ら決断をして、世界を見渡し、大志を抱き、そして高い目標をかかげ、自分の好きなことに熱中していただきたい。その積み重ねが、年月を経て、最後は目の前の現実となって現れる日が必ずやってきます。岡山大学は可能な限り、皆さんの実践知の獲得、グローバル化の手助けをいたします。

皆さんに与えられた時間はそれほど長くはありません。入学するまでのご苦労は承知しておりますが、深く広い教養を身につける第一歩を今日から始めなくてはなりません。皆さんに課せられた、これからの学生生活は、決して甘いものではありません。厳しい学問の世界が待っていると覚悟をしてください。それだけ社会は皆さんの将来に期待しているのです。

さて、本日入学された皆さんに一つお願いがあります。

大学に入学するという事は、大人への第一歩でもあります。18歳以上の皆さんには間もなく、投票権も付与される見込みです。高校までは様々な形でご家族、社会に見守られて生きてきましたが、これからは独立して人生を歩むこととなります。親元を離れて一人暮らしを始める人も多いことでしょう。しかし、自由とは責任を伴うものです。自らの軽率な行動により、自分を傷つけるだけでなく、家族や友人など、皆さんを支えてくださる多くの方々を悲しませ、信頼を裏切るようなことがないように、まずは、一人の責任ある大人として、これからの大学生活に一層の自覚を持つようお願いいたします。

先日、私は久しぶりに Washington を訪問し、アメリカ合衆国、第35代大統領ジョン F. ケネディーが、1961年1月20日の就任演説を行った場所に立ち、私自身の若き時代に思いをはせ、気持ちが昂りました。

私は、このケネディーのあまりにも有名な演説、最後の一節が大好きで、常に自分に言い聞かせ、私の教訓にしてきました。

“My fellow / Ask not/ what your country can do for You/-Ask what you can do for your country.”

国や社会、あなたをとりまく環境が、あなたに何かをしてくれるのかと問いかける前に、あなた自身が、社会や家族に対して何ができるのかを考えてほしいと訴えました。

魅力ある人間とは、自分の「生かされている」環境、自分の置かれた環境は自分で作り上げ、他人のせいにはせず、人の悪口は言わず、人のために努力する人間であると思います。このことが人を広くし、深くします。

私を含め、すべての岡山大学構成員、在校生は、新たに仲間に加わった新入生の皆さんとともに、この岡山大学を限りなく美しい大学、世界に輝く、誇りあふれた大学に作り上げる決意であります。

私も岡山大学の卒業生として、ここで学んだことを誇りに思っています。今日ここに、その誇りを共有するべく集まった皆さんに、心から期待をこめてエールを送り、お祝いの言葉としたいと思います。

本日は、おめでとうございます。

平成27年4月8日

国立大学法人岡山大学長 森 田 潔